

編集後記

* 学部長が海老澤栄一教授より行川一郎教授にバトンタッチされることになった。本号は、海老澤学部長のもとでの発行。十七世紀文学研究会に対する様々な御配慮に対して、心より御礼申し上げたい。

* 次期学部長行川一郎教授は、人文科学に対しても旺盛なる関心を持つておられる。それに応えるべく「麒麟」のますますの充実を図りたく思っている。スタッフ諸氏の御協力を切にお願いしたい。

* 本号は、新スタッフとして新垣公弥子講師をお迎えしての第十四号。

新垣先生の御専門は、沖縄方言学。本学部では、日本語を御担当いだっている。早速、御専門にかかわる論文をお寄せ下さった。心より御礼申し上げる。若き研究者として、これから大いに御活躍いただきたい。

* かく言う私は、経営学部創設時からのメンバー。静岡大学から神奈川大学へ移籍して、はやくも十七年目を迎えたことになる。学部のスタッフはすっかり若返ったが、私は、少々エネルギー切れ。なんとか若い研究者に後れを取らないようにしなければ。

* やりたいテーマは、山ほどあるが、若い時のようにはいかなかった。当面は、編集者として、若い研究者の協力を仰ぎ、『正岡子規事典』（東京堂）に全力投球するか。

* 最後に、本号に御寄稿下さった加藤薫教授、廣田律子教授に心より御礼申し上げます。読者諸賢の忌憚のない御批評をお願いする。

（鬼ヶ城）

会 員 名 簿

新垣小加金鳥廣復	垣本澤藤谷居田本	公弥子誠夫薫夫敏子郎	幸良徳律一
----------	----------	------------	-------